

友の会だより

No.77

2025.10

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

テーマ展 田崎太郎展 神獣と飛行機械のファンタジー

会期：2025年11月6日(木)～2026年3月22日(日)
主催：茨城県陶芸美術館
会場：茨城県陶芸美術館 2階第2展示室
休館日：毎週月曜日(ただし、11月24、2026年1月12日、2月23日は開館)、
11月25日(火)、12月29日(月)～2026年1月1日(木)、1月13日(火)、2月24日(火)

田崎太郎(1970-)は、茨城県笠間市を拠点に活動し、表情豊かな生き物による独自の造形表現が魅力の陶芸作家です。猫神、狛犬、お狐などの動物の神様シリーズや、ペンギン型飛行船や装甲列車などを展開するメカオブジェのシリーズに代表される作品群は、田崎独自の造形美と物語性を兼ね備えています。作品一つ一つにこめられた物語と緻密な技術が融合した表現が、見る者の目を引きまします。笠間を拠点に25年、国内外で活躍する陶芸家・田崎太郎の世界を、新作を含む多彩な作品を通して紹介します。猫神さまなどの神獣から、空を夢見るペンギン博士の飛行機械まで、それぞれに込められたストーリーを掘り下げながら、その独自の造形と物語の軌跡をたどります。展示室の枠を越え、美術館のあちこちに潜む田崎作品を探しながら、遊ぶようにご覧いただけます。



▲田崎太郎
「毘舍羅門猫神」
2021年
茨城県陶芸美術館蔵



▲田崎太郎
「魔除シャーマンペンギン最高神」
2019年
茨城県陶芸美術館蔵



▲田崎太郎
「方位の4神(青龍・朱雀・白虎・玄武)が描かれた猫神」
2025年 個人蔵



▲田崎太郎
「宇宙戦艦」
2025年 個人蔵

●会期中の催事のご案内

*詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。お問い合わせください。

●田崎太郎氏によるアーティストトーク(予約不要)

出品作家が自身の制作について語ります。

11月23日(日) 13:30から

会場：当館2階 第2展示室 参加費：無料(要コレクション展・テーマ展観覧料)

●企画展「THE HEADLINERS 2025」 大好評開催中!(11月30日まで)

茨城県陶芸美術館ならではの多角的な視点で日本各地を調査し、陶芸の今を映し出すシリーズ企画「THE HEADLINERS」の第2弾です。音楽フェスなどで“主役”を意味する「ヘッドライナー」。今年は新たに個性の光る16名の作家を紹介します。それぞれの感性で陶芸に挑戦する新しい表現が響き合います。輝く“超新星”たちの競演を、お楽しみください。

(当館ウェブサイト)



詳しい情報やイベントについては、当館ウェブサイトをご覧ください⇒

茨城県陶芸美術館ウェブサイト <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

笠間の土にこだわって

志賀 出 氏

まちの駅笠間宿内にある直営店舗【伝統工芸士の小さなお店志賀】を訪ねました。お店には、日常生活でも使いたくなるような魅力的な器が並んでおりました。



ご出身はどちらですか

茨城県取手市です。

陶芸の道に進まれた経緯について

子どもの頃から焼き物に関心があって、小学校では焼き物クラブに入って、粘土を捏ねていました（実際は、焼成まではできませんでした）。中学生になると、さらにその思いは強くなり、高校を卒業と同時に焼き物職人になりたいと考え、父と一緒に笠間市役所に相談に行きました。そこで、大津晃窯さんを紹介され、10年間の修行の後、平成9年に市内手越で独立しました。



作品作りについて

私の作品というと、青が際立つ砂化粧金彩シリーズと思われがちですが、最近は青に変えて、赤やピンク、それに緑なども加えたりしています。また、油滴天目に凝った時期もあり、チャレンジしたこともあります。ですが、日頃の制作の中心は、笠間の土で焼いた焼き締めの器です。私は笠間焼と名乗るからには、笠間の土で器を作ることにこだわっています。ですから、私の作った器は、すべて笠間の土で作っています。焼き締めは、土の混ぜ具合や焼成温度でできあがりが変わるので、面白みがあります。



今後どんなことをやりたいですか

いろいろな釉薬を試してみたいのですが、現状では難しいので、とにかく笠間の土を使っていろいろな器作りをしてみたいと考えています。日常使いの器では、器自体が醸し出す雰囲気は大切ですが、それ以上に使いやすさにこだわりをもっています。器に食べ物が盛られた姿を想像しながら、使い手が使いたいと思ったときに自然と手が伸びるような器を作ることが理想です。



プロフィール

茨城県取手市生まれ

昭和62年 大津晃窯にて修行

平成9年 笠間市手越にて独立

平成17年 笠間焼伝統工芸士認定

令和3年 まちの駅笠間宿にて直営店舗open



対談を終えて

対談は、まちの駅笠間宿の直営店舗にて、志賀先生の作品に囲まれながら行われました。先生は陶芸の持つ魅力について、「釉薬でも造形でも、ちょっとした変化を加えることで、できあがる器は無限に変化する。日々その無限の変化を試せる陶芸ができることに幸せを感じている」というお言葉が印象的でした。

主催事業実施報告

●陶芸美術館と友の会共催の講演会

9月28日(日)に飯田好日堂店主の飯田國宏氏をお迎えして講演会を実施いたしました。演題は「近代数奇者の美意識について」でした。原三溪、松永耳庵、益田鈍翁の人となりや当時の数奇者についてのお話をお伺いすることができ、68名の参加があり盛況でした。また、当日は、関彰商事プレゼンツ1日無料day(企業サポートによる無料の日)のため館内全ての展示を無料でご覧になることができ582名の来館者がありました。



友の会 金杉春樹会長のあいさつ

参加者の募集

国内研修視察

(※詳細は友の会だよりと一緒に送る別紙の旅行会社パンフレット参照。会員でない方もご同伴できます)

テーマ:【北陸 陶芸と文化を楽しむ3日間の旅】

期 日: 令和7年12月2日(火)～4日(木) 2泊3日

方 面: 越前方面

行 程: 1日目: 福井陶芸美術館 芦原温泉宿泊

2日目: 人間国宝「中田 一於」氏訪問

石川美術館・金沢21世紀美術館

3日目: 大樋美術館 近江町市場散策

募集人数: 先着20名(最少遂行人数10名)

費 用: 約13万円

(東京駅までの交通費は含みません。また、参加人数により費用の変更があります。)

※介助が必要な方のお申し込みはご遠慮ください。

今回は人間国宝の「中田一於」氏から直接お話をお伺いすることができます。たくさんの方の参加をお待ちしております。

ボタニカルアーツ絵付け講座

(会員でない方も参加できます)

令和8年2月4日(水)、2月17日(火)の2日間にわたり、講師に守谷市にある「ポーセラーツ守谷」代表の萩原恵子氏をお迎えしてボタニカルアーツ磁器絵付け講座を開催いたします。ボタニカルアーツは植物の特徴を正確に描いた芸術作品です。陶磁器

にペインティングをしていきます。今年度は新しい取組となります。たくさんの方の参加者をお待ちしております。申込は同封のご案内をご理解の上、お申し込みをお願いします。



講師の萩原 恵子 氏

呈茶会

(会員でない方も参加できます)

日 時: 11月13日(木・茨城県民の日) 10:30、11:30、13:30、14:30、15:30

会 場: 茨城県陶芸美術館地下1階オープンギャラリー

募集人数: 各席先着10名、5席、予約優先

参加費: 1,000円

席 主: 永地宗栄氏(裏千家)

予 約: 会員の方10月23日(木)～11月12日(水)

一般の方11月2日(日)～11月12日(水)

茨城県陶芸美術館友の会(電話0296-70-0011) 担当石井、大関まで。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ	(土)(日)(祝日) 営業
笠間工芸の丘	0296-70-1313
●10月1日(水)～10月13日(月)	八十島窯展
●10月1日(水)～10月13日(月)	さがわはるな 展
●10月16日(木)～10月26日(日)	前野とも子 作陶展
●10月29日(水)～11月9日(日)	宮本 希 展
●10月29日(水)～11月9日(日)	木とフェルト展
●11月12日(水)～11月30日(日)	野村朋香 展
●11月12日(水)～11月30日(日)	笠間焼伝統工芸士展
●12月3日(水)～12月21日(日)	タスファイエ・ガライヤ 展
●12月3日(水)～12月21日(日)	菅波・佐川・下山田三人展
●1月2日(金)～1月18日(日)	ひとにやさしいうつわ展
●1月21日(水)～2月8日(日)	海老澤 礼子 作陶展
笠間みんげい	0296-72-9280
かつら陶芸	0296-72-6688
ギャラリー桜	0296-72-0803
ギャラリー舞台	0296-73-0700
●10月11日(土)～10月19日(日)	小山 義則 展
●10月25日(土)～11月9日(日)	shimacraft 島崎小乙里 展
●11月15日(土)～11月24日(月)	櫻井理人・あゆみ 展
●12月6日(土)～12月21日(日)	町田 幸 展
●1月10日(土)～1月25日(日)	松本 良太 展
笠間焼窯元共販センター	0296-72-5665
きらら館	0296-72-3109
●9月23日(火)～10月5日(日)	岩本 倫子 作品展
●10月7日(火)～10月19日(日)	小林 一富美 作品展
●10月21日(火)～11月3日(月)	駒澤 博司 作品展
●11月5日(火)～11月16日(日)	武内雅之・武内光代 (武内陶房 Sie)作品展
●11月18日(火)～11月30日(日)	しのめ窯、鈴木 慎一、あかね 作品展
●12月2日(火)～12月21日(日)	吉田 丈・樋口 早苗 作品展
●1月1日(木)～1月18日(日)	陶雛・干支作品展
●1月20日(火)～2月1日(日)	栗原 節夫・高橋 勝宏 作品展
向山窯	0296-72-0194
丹野陶房	0296-72-4028

陶芸館	0296-72-6650
東風舎	0296-72-5205
無限堂	0296-72-1695
やまさき陶苑	0296-72-6865
涼	0296-72-0712
ミュージアムショップ(館内)	0296-72-7105
レストラン「風の丘」(館内)	0296-72-0197

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。) 笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

一般会員：年会費3,000円

家族会員(※同居家族2人に限る)：年会費(2人で)5,000円

- 特典1** コレクション展・テーマ展が、何度でも無料で観覧できます。
- 特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典4** 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。
- 特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問い合わせは茨城県陶芸美術館友の会担当までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編集後記

今年も、庭中に虫の音を聴く時期になりました。
秋月に虫の音 秋ですね。季節の移ろいを感じながらの一献、いいですね。旅に出たくなるのは私だけでしょうか。

友の会だより No.77

発行：令和7年10月15日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小薬 和子 鈴木 充 佐藤 誠